

保護者様

和みの学び舎
世田谷区立奥沢中学校
校長 高林 敏彦

令和7年度の改善結果および令和8年度に向けた改善方策について

春色の候、保護者の皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動にご理解、ご協力を賜りありがとうございます。

さて、令和7年度奥沢中学校学校関係者評価の結果及びその分析について、学校関係者評価委員会より報告を受け、その課題に対する学校としての改善策について、下記の通りに報告いたします。

なお、学校関係者評価委員会よりの報告、各項目の評価結果につきましても本校ホームページ上に掲載しますのでご覧ください。

記

1 令和6年度改善方策を受けた改善結果について

学校関係者評価委員会から報告を受けた改善方策として以下のことを実施いたしました。

① アンケートを工夫し保護者・地域のご意見をより多く教育活動に生かす

改善方策：学校関係者評価アンケートの項目を学校で設けた。質問項目を奥沢中の教育活動についてのものに厳選した上で実施した。さらに、アンケートの全体が見て分かるよう工夫し、保護者の皆様が回答しやすい環境を整えることにより、多くのご意見をいただき、奥沢中学校の教育活動の工夫改善につなげていく。

結果： 保護者アンケート回収率37.3% → 43.2%

分析： 保護者の方のアンケート回収率が5.9%上昇したが、半数に届いていない状況である。ただ、アンケートの全体が見られる状況になったことや、説明を加えたことにより、「わからない」の回答の割合が低くなっており、より教育活動の改善につながるご意見をいただくことができたと考える。

② 改築工事の中で生徒の安全・安心を大切にされた教育活動を行う

改善方策：教職員が全校体制で生徒を見守り、生徒の主体性を尊重する教育活動を続けていく。担任以外の教員や養護教諭、カウンセラー、さらに来年度から新たに配置される「不登校巡回担当教員」等、多くの大人が支援していることを繰り返し伝えていく。教職員の研修を進め、生徒との良好な人間関係を築いていくことで、生徒たちが安心して学校生活を送ることができるようにする。また、改築工事期間の中でも、日々の教育活動を丁寧に実施することで、生徒の教育活動を安全に進めていく。

結果： 生徒用アンケート「先生たちは、生徒に丁寧に指導している」 88% → 98%

保護者アンケート「丁寧に指導をしている」 69% → 84%

分析： 生徒アンケートは、提出率が下がった中での変化であるが、保護者アンケートは、提出率が上がった中での結果であり、学校全体で、丁寧な指導を行ってきたことが評価されていると考えられる。

2 令和8年度に向けた改善方策について

学校関係者評価委員会から、以下のような報告をいただきました。（各項目の考察及び総合所見より）

回収率において、保護者が昨年より若干増加したが、まだ5割を切っておりもう少し協力を呼びかけてほしい。また、生徒の回収率が例年より少ないのはどうしてか気になる。回収率は、生徒についてはできる範囲で100%に近づけるよう改善する努力が必要である。

生徒からは、例年高い評価を得ているが、今年は全体的にさらに高い評価を得ている。また「学んだことについて興味をもつ」が80%を超え、「先生たちに相談しやすい」の肯定的評価も上がっている。

今年はアンケートにあたって学校の方で事前にフォーマットを作成して頂いたため、全体的に生徒、保護者ともに「E：分からない」の割合が低くなっている点が目立ち、アンケート項目に対しての理解をえている。

学習指導、生活指導、学校行事のすべての項目において先生方の高い水準での指導の結果が生徒のみならず保護者からも高い評価を受けており、生徒が受け身にならず積極的に考え、行動している姿が伺える。

学校と地域の関係は良好であり、高い評価を得ている。保護者、地域ともにお知らせなどで学校の様子がよく伝えられていると高い評価を得ている。地域の人々と学校の関係も良好であると受け取られており、学校運営委員会の活動に関しても地域の人々に周知されるようになってきている。

昨年と同様に先生方の生徒への指導の取り組み方が100%という数字で表されており、素晴らしいと感じた。生徒たちは授業、学校行事を通してお互いを大切にし、学校生活を楽しんでいるようだ。昨年よりも保護者の方々は学校の指導を理解し、高い評価をしている。

近年AIを利用し多くのことが調べられるようになり、ICTを利用した学習によって図書室を利用した調べ学習が減っているのではないか。今後AIがさらに進化することにより、学習の在り方も変わってくると思われる。しかし、その反面、本による読書や知識の吸収も大切な要素であることに変わりはない。図書室の活用も考慮していただきたい。

時代の流れが早くなる中で、生徒へのアンケートの問いかけには絶対的に変わらないものもあるが、時代に合わせたものにしていかなければならない事柄もあると思われる。したがって、アンケートの項目も定期的に検討していく必要がある。

今後、校舎の建て替えが行われている中で、奥沢中学の伝統的な良い面を維持しつつ、新しくなる環境で更なる発展が望まれる。

以上の報告を受け、改善方策として次の2点を来年度の教育計画に組み込み、教育活動の充実に努めてまいります。

【アンケートを工夫し生徒・保護者・地域のご意見をより多く教育活動に生かす】

改善策：来年度から、学校の自己評価をもとに学校運営協議会が教育活動の評価を行うことになる。生徒・保護者のアンケート項目・内容を見直すとともに、アンケート結果を踏まえた上で、学校が授業やその他の教育活動の工夫・改善につなげる自己評価を行う。その自己評価を学校運営協議会に諮り、学校の取組の改善につなげる。

【AI等を活用した学習活動に取り組むとともに、互いを尊重する態度を育てる】

改善策：時代の流れが早くなる中で、学校の教育活動として、変わらず大切にすると、AIの活用等新しく教育活動に取り入れることが求められていくものがある。授業においてAIの活用に取り組むとともに、その使い方について研修を進める。また、学校行事や日々の教育活動においてAIの活用が進んだとしても、人と人との関係の中で「互いを尊重する」経験を重ねることの重要性は変わらない。授業や行事を通して学ぶ機会を設けていく。